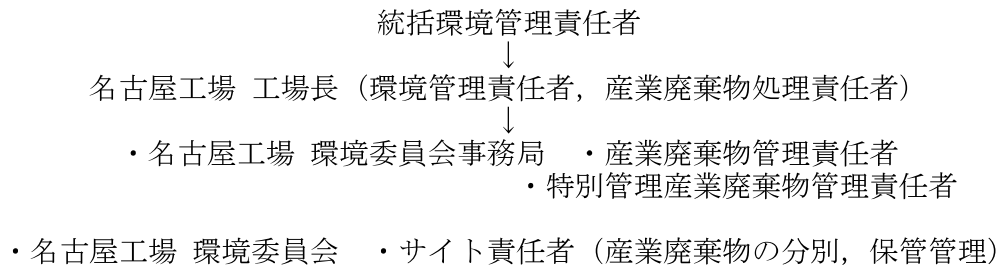


(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2025年 6月 28日	
名古屋市長 様	
提出者	
住 所	愛知県北名古屋市九之坪半野27
氏 名	天野エンザイム株式会社 名古屋工場
工場長 日比野 照	
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号	0568-21-3883
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	天野エンザイム株式会社 名古屋工場
事業場の所在地	愛知県北名古屋市九之坪半野27
計画期間	2025年4月1日～2026年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	16：化学工業
② 事業の規模	製造品出荷額：818,592万円
③ 従業員数	139名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	廃水処理工程から排出される産業廃棄物 ・汚泥⇒自ら中間処理（汚泥脱水・乾燥）した後 中間処理業者に委託し発酵，堆肥化 製造工程から排出される産業廃棄物 ・汚泥（珪藻土）⇒中間処理業者に委託して発酵，堆肥化 ・動植物残渣⇒中間処理業者に委託して発酵，堆肥化 ・廃プラスチック類⇒再生処理業者に委託しRPF燃料として再資源化

産業廃棄物処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

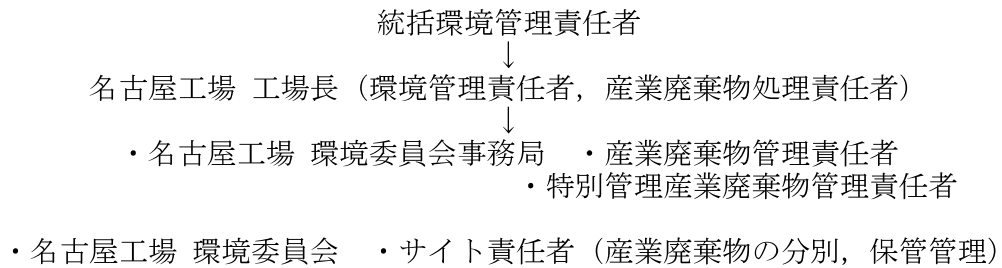
①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(廃水処理)	
	排 出 量	30,264t	t
	(これまでに実施した取組) 汚泥脱水機の運転管理 汚泥乾燥機の運転管理 排水のCOD負荷を一部嫌気処理する事で、好気処理の負荷を減らし、 好気処理で発生する汚泥量を減らす。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(廃水処理)	
	排 出 量	29,961t	t
	(今後実施する予定の取組) 汚泥脱水機，乾燥機の機能維持により脱水汚泥含水率の低減を図る。 排水処理の嫌気処理設備を維持し、好気処理の負荷及び発生する汚泥を減らす。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥、動植物性残さ、廃プラスチック類はそれぞれ分別した後、指定の保管場所に保管している
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特に無し

産業廃棄物処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

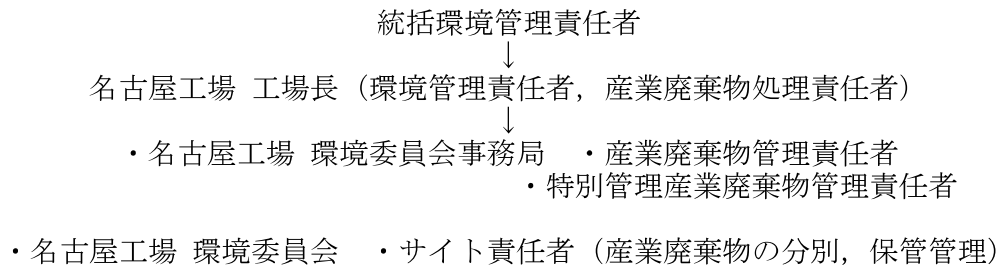
①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(珪藻土)	
	排 出 量	554t	t
	(これまでに実施した取組) 圧搾機能付きフィルタープレスにより 水分を55%くらいに減量した		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(珪藻土)	
	排 出 量	548t	t
	(今後実施する予定の取組) フィルタープレスの機能維持を行い水分の減量能力を維持する		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥、動植物性残さ、廃プラスチック類はそれぞれ分別した後、指定の保管場所に保管している
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特に無し

産業廃棄物処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

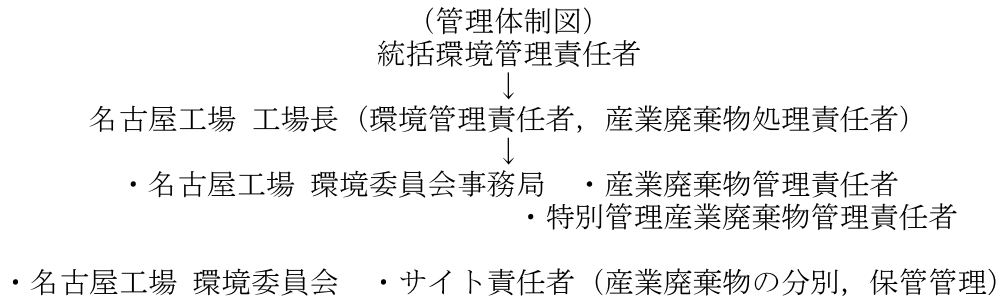
①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	
	排 出 量	57t	t
	（これまでに実施した取組） 使用量の削減に努める		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	
	排 出 量	56t	t
	（今後実施する予定の取組） 使用量の削減に努める		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃酸は分別した後、指定の保管場所に保管している
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 特に無し

産業廃棄物処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	
	排 出 量	264t	t
	(これまでに実施した取組) ・過剰な包装品の購入を避け包装仕様の変更可能な納入業者には簡易包装での納入を交渉した ・リサイクル容器の製品を購入し容器を納入業者に回収させる		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	
	排 出 量	261t	t
	(今後実施する予定の取組) 詰め替え製品の購入を心掛ける		

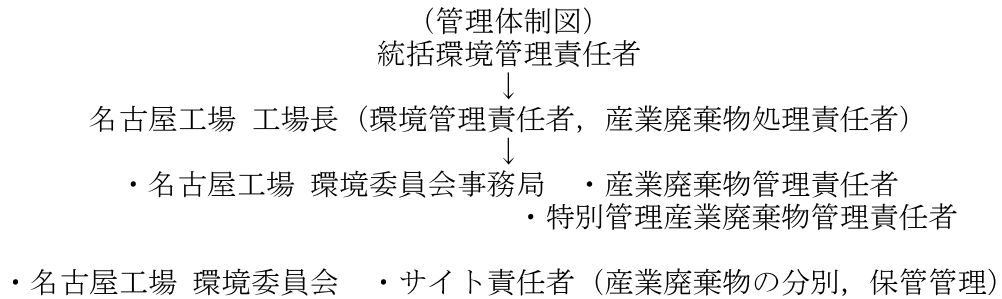
産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥、動植物性残さ、廃プラスチック類はそれぞれ分別した後、指定の保管場所に保管している
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特に無し

(第2面)

産業廃棄物処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

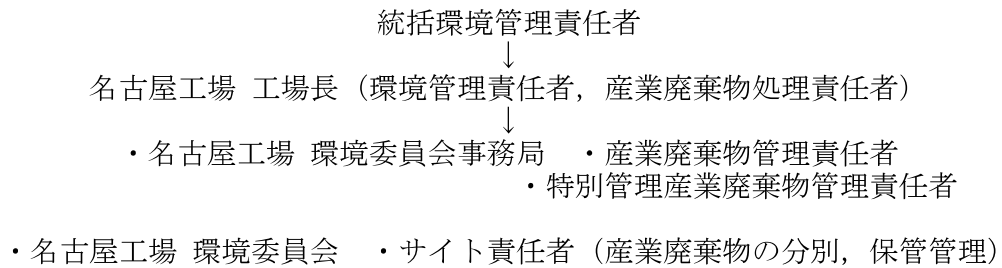
①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	
	排 出 量	12t	t
	(これまでに実施した取組) ・蒸留前アルコールタンク内の不純物堆積を防ぎ、アルコール廃棄必要量の削減に努める。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	
	排 出 量	11.9t	t
	(今後実施する予定の取組) 不純物堆積を防ぎ、廃アルコールの削減に努める。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥、動植物性残さ、廃プラスチック類はそれぞれ分別した後、指定の保管場所に保管している
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特に無し

産業廃棄物処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

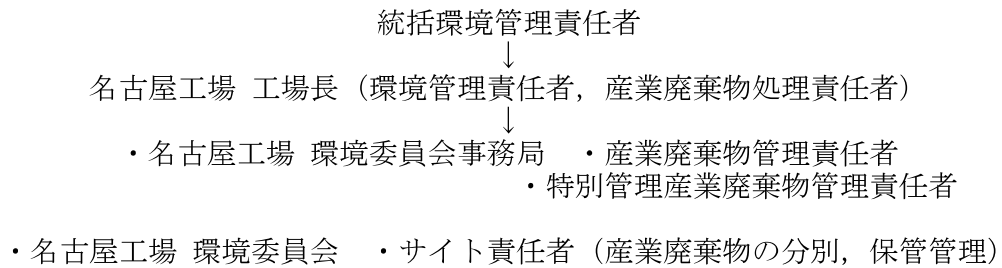
①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動・植物性残さ	
	排 出 量	4,906t	t
	（これまでに実施した取組） 絞り機により水分を65%くらいに減量した		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動・植物性残さ	
	排 出 量	11.9t	t
	（今後実施する予定の取組） 絞り機の機能維持を行い水分の減量能力を維持する		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 汚泥、動植物性残さ、廃プラスチック類はそれぞれ分別した後、指定の保管場所に保管している
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 特に無し

産業廃棄物処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃ガラス	
	排 出 量	0.5t	t
	(これまでに実施した取組) ・必要以上の購入・使用・廃棄を防止する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃ガラス	
	排 出 量	0.49t	t
	(今後実施する予定の取組) 継続して、使用量、廃棄量の削減に努める。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ガラス、金属、プラスチック等、可能な限り分別し廃棄している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特に無し

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（-年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(廃水処理)	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	29,796t	t
	(これまでに実施した取組) 廃水処理により発生した汚泥を、脱水・乾燥し廃棄量を減量している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(廃水処理)	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	29,498t	t
	(今後実施する予定の取組) 乾燥機・脱水機の機能維持に努め、継続して中間処理を行う。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋処分に関する事項

①現状	【前年度（－ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	－	
	自ら埋立処分又は 海洋処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	－	
	自ら埋立処分又は 海洋処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(廃水処理)	汚泥(珪藻土)
	全 処 理 委 託 量	468t	554t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0t	0t
	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	468t	554t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0t	0t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0t	0t
	(これまでに実施した取組) 再生利用業者への処理委託を行う		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋処分に関する事項

①現状	【前年度（－ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	－	
	自ら埋立処分又は 海洋処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	－	
	自ら埋立処分又は 海洋処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃プラスチック
	全 処 理 委 託 量	57t	264t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0t	264t
	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	57t	264t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0t	0t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0t	0t
	(これまでに実施した取組) 再生利用業者への処理委託を行う		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋処分に関する事項

①現状	【前年度（－ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	－	
	自ら埋立処分又は 海洋処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	－	
	自ら埋立処分又は 海洋処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動・植物残さ	廃油
	全 処 理 委 託 量	4906t	12t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0t	12t
	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	4906t	0t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0t	0t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0t	0t
	(これまでに実施した取組)		
	再生利用業者への処理委託を行う		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋処分に関する事項

①現状	【前年度（－ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	－	
	自ら埋立処分又は 海洋処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	－	
	自ら埋立処分又は 海洋処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃ガラス	
	全 処 理 委 託 量	0.5t	0t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0.5t	0t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.5t	0t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0t	0t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0t	0t
	(これまでに実施した取組)		
	再生利用業者への処理委託を行う		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(廃水処理)	汚泥(珪藻土4)
	全 処 理 委 託 量	463t	549t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0t	0t
	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	463t	548t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0t	0t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0t	0t
	(今後実施する予定の取組) 委託処理業者の定期的な立ち入り調査を実施		
※事務処理欄			

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃プラスチック
	全 処 理 委 託 量	56t	261t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0t	261t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	56t	261t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0t	0t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0t	0t
	(今後実施する予定の取組) 委託処理業者の定期的な立ち入り調査を実施		
※事務処理欄			

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動・植物性残さ	廃油
	全 処 理 委 託 量	4857t	11.9t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0t	11.9t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	4857t	0t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0t	0t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0t	0t
	(今後実施する予定の取組) 委託処理業者の定期的な立ち入り調査を実施		
※事務処理欄			

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃ガラス	
	全 処 理 委 託 量	0.49t	0t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0.49t	0t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.49t	0t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0t	0t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0t	0t
	(今後実施する予定の取組) 委託処理業者の定期的な立ち入り調査を実施		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

